

# 会計人の教養

8



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

## 朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">進行</div> </div>	<p><b>進行役</b>：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p>② 「おねがいします！」</p> <p>③ 「ありがとうございました」</p> <p>④ 「失礼します」</p> <p>⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">②「〇ページをお開き下さい」</p> <p style="padding-left: 20px;">③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <p style="padding-left: 40px;">★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</p> <p style="padding-left: 40px;">★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</p> <p style="padding-left: 40px;">★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 全員が落ち着いたことを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」</p> <p style="padding-left: 40px;">「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「以上で朝礼を終わります。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

31 30 29 26 24 23 20

土 金 木 月 土 金 火

ドン・キホーテ  
クローン動物  
携帯電話の歴史  
マトリョーシカ  
ゲームセンターCX  
金栗四三  
バター不足

7 6 5 4 3 2 1

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」とはまさにその通りで、分からないことを質問するのは決して耻ずかしいことではなく、自分に未知の分野があったと知るチャンスなのです。

学校掲示「今日の言葉」より

※「今日の言葉」とは、名言・格言を自由に書くコーナーです。

# 2019 AUGUST

令和元年 葉月 [はづき]

第5巻08号 (通算50号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

みなさんは、ドン・キホーテという小説を読んだことはありますか。

スペインの下級貴族である主人公が、大好きな騎士道物語を読み過ぎて妄想に陥った挙句、自らを伝説の騎士だと思い込み、仲間と共に世の中の不正を正す旅に出ますが、行く先々で騒動を起こすというお話です。

このあらすじのみを聞くと、現実と物語との区別がつかなくなり、精神がおかしくなった人の珍道中がテーマのように思えるかもしれません。

しかし、作品の中ではたくさんのお言葉があり、「運命というものは人をいかなる災難に合わせても必ず一方の戸口をあけておいて、そこから救いの手を差し伸べてくれるもの」というような、試練を乗り越えるための励ましになるような言葉が数多くあります。

みなさんも自分の目標に向かって努力していると、途中で諦めたくなったり、投げ出さなくなったりすることがあるかもしれません。そんな時は、ドン・キホーテを読んでみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆ドン・キホーテを読みましよう

みなさんは、クローン動物が生活で用いられているをご存知でしょうか。

クローン動物とは、遺伝子が全く同一の動物のことをいい、身近な例としては一卵性双生児が挙げられます。

近年、一部のほ乳動物においてもクローン動物の増殖が可能となってきました。畜産分野においては、クローン技術は家畜の改良を進めるのに有効な手段の一つであり、生産性の向上、品質の向上という効果が期待されています。このほか、医療分野をはじめ、多くの分野において、同じ遺伝子を持った実験用動物の大量生産や、絶滅の危機に瀕している希少動物などの保護再生などへの利用が期待されています。

最近では、ヒトへのクローン技術の応用が研究されていますが、ヒトの個体を作成することは、安全面、倫理面の問題から、国際的に規制される流れにあります。

近年、科学は目覚ましい進歩を遂げています。みなさんも、科学技術に注目してみたいかがででしょうか。

今日の心がけ◆科学に関心を持ちましょう。

みなさんは、携帯電話が何を見本にして作られているか知っていますか。実は、第二次世界大戦中にアメリカ軍が使用したトランシーバーがもとになっているようです。

世界で初めて携帯電話として、展示されたのは、一九七〇年に大阪で開催された日本万国博覧会です。この頃の携帯電話は、現在のように公衆の電話回線を利用するものではなく、数メートル離れたところまでしか通話ができないものでした。

その後、小型化や改良を繰り返し、二〇〇七年タッチパネルを搭載したスマートフォンが開発され、現在の携帯電話の形になりました。

携帯電話が展示され、現在の形になるまでの五十年。改良に改良を重ね急速な変化を遂げてきましたが、これからもユーザーのニーズに合わせて変わり続けていきそうです。

私たちも、携帯電話のように成長し続ける人間になりたいですね。

今日の心がけ◆成長し続ける人間になりましょう。



みなさんは、マトリョーシカ人形についてご存じでしょうか。

マトリョーシカ人形の外見は、こけしのような形をしており、人形の中には、複数の人形が入れ子形式で入っています。

ロシアの民芸品であることから、発祥もロシアだと思われることが多いですが、これはいくつかの説があり、中でも、箱根の七福神の入れ子人形が起源だという説が有力だといわれています。

以前は、女性の絵が描かれたものが一般的でしたが、最近では、ジブリのトトロなど、人気キャラクターを題材にしたものも増えています。

あまり関心のないことでも、調べてみることで新たな発見があるかもしれませんね。

今日の心がけ◆様々なことに関心を持ちましょう

みなさんは、「ゲームセンターCX」というバラエティ番組をご存じでしょうか。

フジテレビのCSチャンネルで二〇〇三年に開始したこの番組は、十五年以上も続く大人気長寿番組で、メインパーソナリティを務めるのは、お笑い芸人よるこの有野晋哉さんです。

有野さんは、架空の企業である「株式会社ゲームセンターCX興業」の社員という設定で、番組開始時の役職は主任でしたが、課長代理を経て、現在は課長に就任しています。メインコーナーは「有野の挑戦」で、有野課長が昔懐かしいレトロゲームをプレイし、エンディングを目指してひたすら奮闘するというコーナーです。

有野課長のゲームの腕前は、うま過ぎない絶妙なもので、これが人気の理由になっています。視聴者は有野課長のプレイに自分を重ねて、ウズウズ、ハラハラし、クリア時には達成感を共有できるのが醍醐味です。YouTubeにも公式の動画がアップされていますので、気分転換に観てみてはいかかでしょうか。

今日の心がけ◆上手に気分転換をしましょう

みなさんは、金栗四三という方をご存知でしょうか。金栗氏は熊本県出身のマラソン選手で、現在放送中のNHK大河ドラマでもその半生が描かれました。明治四十四年に行われたストックホルム五輪の予選会では、当時の世界記録を二十七分も更新する大記録を出し、日本人初のオリンピック選手に選ばれます。

しかし不運にも、本番では日射病により倒れ、レースを諦めざるを得ませんでした。

それから五十五年後の昭和四十二年、金栗氏がストックホルム五輪の記念行事に招待された際、「棄権したという記録はなく、まだゴールしていないことになっている」というオリンピック委員会の粋な計らいを聞かされます。

改めてゴールテープを切ったその瞬間、「これをもって、ストックホルム五輪全日程を終了いたします」というアナウンスが流れ、会場は大いに沸きました。

「体力、気力、努力」を掲げ、自身のことだけでなく、箱根駅伝の開催や女子スポーツの振興、後進の育成にも尽力しました。全力で走り抜いた彼の人生を、私たちも見習いたいですね。

今日の心がけ◆人生を全力で走り抜けましょう。

近年日本では、乳製品のひとつであるバターの価格が高騰しており、その原因のひとつとして、生乳生産量の減少と生乳加工の優先順位が挙げられます。

乳製品の原料となる生乳は非常に腐敗しやすいものです。そのため、酪農家と販売先を仲介する「指定団体」と呼ばれる組織は、利益率が高く、賞味期限の短い牛乳などに優先的に生乳を消費するよう提案し、逆に利益率の低いバターは後回しで消費されることが多いようです。

そのような現状の中、離農者の増大などによって生乳の生産量は減少の一途をたどっており、生乳不足がそのまま、バター不足へと繋がっています。

また、製品の流通管理を目的として、民間企業が国外バターを輸入する際には巨額の関税がかかる仕組みになっており、輸入に頼ることも難しい現状です。

料理には欠かせないバターですが、手頃な価格で手に入れるためには、まだ時間がかかるようです。

今日の心がけ◆物事の理由を考えてみましょう。